

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組～6組：佐藤邑・白戸）

使用教科書：（『高等学校 標準言語文化』第一学習社）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深め、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
			語	書	読						
1 学 期	単元「古文入門」 【知識及び技能】 ・文語のきまりを理解する。 ・文字の変化について理解する。	・「古文を読むために①」 古文単語や歴史的仮名遣いなど、古典を学ぶ上での基本的な事項を学び、高校における古典学習の準備を整える。 ・教材 標準言語文化、新国語便覧		○		【知識・技能】 古典分野の基礎的な知識や常識が身に付いているか。 【思考・判断・表現】 学習活動に際して、より深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 国語科における古典分野の基礎を築こうとしているか。		○	○	5	
	単元「古文入門」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。	・「児のそら寝」 平易で興味深い説話に接することによって、古文に対する親近感をもつ。 ・教材 標準言語文化、新国語便覧			○		【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。		○	○	6
	定期考査								○	○	1
	単元「小説を読む（二）」 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深める方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・読書の意義と効用を理解する。	・「羅生門」 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・教材 標準言語文化、新国語便覧			○		【知識・技能】 現代文分野の基礎的な知識や常識が身に付いているか。 【思考・判断・表現】 学習活動に際して、より深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 国語科における現代文分野の基礎を築こうとしているか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。		○	○	11
定期考査								○	○	1	
2 学 期	単元「漢文入門」 【知識及び技能】 ・訓読のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。	・「訓読に親しむ①②③」 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字の働きと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。 ・教材 標準言語文化、新国語便覧		○		【知識・技能】 古典分野の基礎的な知識や常識が身に付いているか。 【思考・判断・表現】 学習活動に際して、より深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 国語科における古典分野の基礎を築こうとしているか。		○	○	6	
	単元「故事成語」 【知識及び技能】 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。	・「五十歩百歩」、「矛盾」 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・教材 標準言語文化、新国語便覧、 体系古典文法			○		【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。		○	○	7
	定期考査								○	○	1
	単元「古文に親しむ」 【知識及び技能】 ・文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。	・「絵仏師良秀」 古文における人物造形のおもしろさを読み味わい、古文の世界への親しみを深める。 ・教材 標準言語文化、新国語便覧、 体系古典文法			○		【知識・技能】 古典分野の基礎的な知識や常識が身に付いているか。 【思考・判断・表現】 学習活動に際して、より深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 国語科における古典分野の基礎を築こうとしているか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。		○	○	13
【知識及び技能】 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。	・「仁和寺にある法師」 「枕草子」とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批評的な精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・教材 標準言語文化、新国語便覧							○	○	1	
定期考査								○	○	1	



高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位  
 対象学年組：第1学年 1組～6組  
 教科担当者：（1組～6組：大村）  
 使用教科書：（『高等学校 標準現代の国語』）

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
  - 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
  - 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深め、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語	書	読					
1 学 期	A 単元 世界を広げる 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。 定期考査	・指導事項 手塚治虫「世界は謎に満ちている」 「世界は謎に満ちている」ことを説明するための工夫を、文章の構成や取り上げた事例から把握する。	○	○		【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていくか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。	○	○	○	10
	C 単元 世界を広げる 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 読書の意義と効用を理解し、日々の読書活動に繋げる。	・指導事項 又吉直樹「なぜ本を読むのか」 筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ・教材 標準現代の国語、新国語便覧		○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	5
	D 単元 現代と社会 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の情勢について積極的に調べ、自分の考えを持つ。 定期考査	・指導事項 黒柳徹子「黄色い花束」 コソボの話題を筆者の子供時代の話題との関係を把握し、子供たちに対する筆者の思いについて考えを深める。 ・教材 標準現代の国語、新国語便覧	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていくか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。	○	○	○	6
	D 単元 言葉が開く世界 【知識及び技能】 言葉には認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。例示などの修辞を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のはたらきを理解し、日常生活で生かす。 定期考査	・指導事項 本田弘之「言語としてのピクトグラム」 ピクトグラムを持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。 ・教材 標準現代の国語、新国語便覧	○	○		【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていくか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。	○	○	○	13
2 学 期	E 単元 人間と文化 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 調べたことを整理して、説明資料にまとめる方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 水のとらえ方の違いから視点を広げ、西洋と東洋の違いについて興味を持つ。 定期考査	・指導事項 山崎正和「水の東西」 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・教材 標準現代の国語、新国語便覧	○	○	○	【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	6
	F 単元 社会と人間 【知識及び技能】 常用漢字を文や文章の中で活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 仕事の意義、役割を理解する。 定期考査	・指導事項 内田樹「人はなぜ仕事をするのか」 本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。 ・教材 標準現代の国語、新国語便覧	○	○		【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていくか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。	○	○	○	7
							○	○	○	1

3 学 期	<p>G 単元 社会と人間</p> <p>【知識及び技能】 文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主題を的確に理解し、身の周りに引き寄せて考える。</p>	<p>・指導事項 岡田美智男『『弱いロボット』の誕生』 「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。</p> <p>・教材 標準現代の国語、新国語便覧</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。</p> <p>話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていくか。</p> <p>【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。</p>	○	○	○	9
	<p>H 単元 現代と社会</p> <p>【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 有限な資源をどのように活用していく、今後の日常生活にも繋げて考える。</p>	<p>・指導事項 鷲谷いづみ「イースター島になぜ森がないのか」 イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。</p> <p>・教材 標準現代の国語、新国語便覧</p>	○	○	○	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。</p> <p>【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。</p>	○	○	○	10
	定期考査					○	○			
合計										70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

地理歴史科

科目 歴史総合

教科：地理歴史科 科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：山田淳）（2組：山田淳）（3組：山田淳）（4組：山田淳）（5組：山田淳）（6組：山田淳）

使用教科書：（わたしたちの歴史 日本から世界へ）

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特性と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに調査や諸資料から様々な情報：

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念などを活用して多面的多角的に考察したり、

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象についてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代史の歴史の変化に関わる諸事象について世界とその中の日本を広く相互的な視野からとらえ現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめられる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代推移比較相互の関連や現代とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多角的・多面的に考察したり歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や考察構想したことを効果的に説明したりそれらをもとに議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
近代化への問い ①交通と貿易に関する諸資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ②産業と人口に関する諸資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ③権利意識と政治参加や国民の義務に関する諸資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ④学校教育に関する諸資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ⑤労働と家族のあり方に関する諸資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ⑥移民に関する諸資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。	①交通と貿易 ②産業と人口 ③権利意識と政治参加や国民の義務 ④学校教育 ⑤労働と家族 ⑥移民 ・教材 教科書、副教材、プリント など	【知識・技能】 ・資料を利用して、交通の発達や貿易の拡大が近代化の重要な側面であることを理解できている。 ・資料を利用して、産業発達と人口増加の関連が近代化の重要な側面であることを理解できている。 【思考・判断・表現】 ・諸資料から、日本で19世紀におこなわれた、身分を問わずに義務を課せようとする動きや、同様に身分を問わずに権利を獲得しようとする動きの関連性について考察し、表現できている。 ・諸資料から、学校教育の均質化・一般化が近代化に与えた影響について考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学校教育の均質化・一般化について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・産業革命にともなう労働や家族の変化について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
B 単元 1 18世紀の世界とアジア ①18世紀のアジアにおける経済や文化の発達と同時代のヨーロッパ諸国の対外進出との関係について考察する。 ②江戸時代の日本における産業の発達と全国市場の形成を、いわゆる「鎖国」体制と関連付けて考察し、理解する。	18世紀の世界とアジア 琉球と蝦夷地 ・教材 教科書、副教材、プリント など	【知識・技能】 ・アジア産の世界商品がヨーロッパでどのように扱われていたかを理解できている。 ・大西洋三角貿易の構造を理解できている。 ・「鎖国」体制の形成過程を理解できている。 【思考・判断・表現】 ・18世紀のヨーロッパ人の中国観について資料をもとに考察し、表現できている。 ・貿易規制と産業発達の関係や全国市場の形成について考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・18世紀のアジアと日本の観戦やヨーロッパとの関係について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
産業革命。アヘン戦争と日本 ①産業革命がイギリスにおける綿工業を中心とした技術革新から始まったことを理解する。 ②産業革命による工業生産の機械化・大規模化と世界の結びつきの変化について考察する。 ③アヘン戦争に清が敗れたことが、江戸幕府の対外政策に与えた影響について考察する。	1産業革命アヘン戦争と日本 ・教材 教科書、副教材、プリント など	【知識・技能】 ・イギリスの三角貿易について理解できている。 ・アヘン戦争後、欧米諸国による東アジア進出が進んだことを理解できている。 【思考・判断・表現】 ・資料や図版などから、外国出立の理由について考察し、表現できている。 ・江戸幕府が対外政策を変化させた理由について考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・産業革命の過程と社会問題の発生について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
日本開国期の国際情勢、開国後の日本 ①日本が開国した頃、世界各地で数多くの戦争や反乱がおこっていた理由を考察し、理解する。 ②開港前後における日本の政治状況について理解する。 ③対外貿易の影響が倒幕運動にどのように結びついたかを考察し、理解する。	日本開国期の国際情勢、開国後の日本 ・教材 教科書、副教材、プリント など	【知識・技能】 「西洋の衝撃」に対するアジア諸地域の反応について理解できている。 ・列強が非欧米世界へ進出する一方で、たがいに対立することもあったことを理解できている。 【思考・判断・表現】 ・資料や図版などから、開港が社会に与えた影響について考察し、表現できている。 ・対外貿易と倒幕運動の関係について考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・開港と倒幕運動の関係について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
明治維新 富国強兵と文明開化 ①江戸幕府の滅亡から明治政府成立の過程を理解する。 ②明治新政府がどのようにして天皇中心の新国家を建設したかを考察し、理解する。 ③明治政府の進めた富国強兵の具体的な内容を理解する。 ④欧米の産業技術の導入が日本の文化や生活に与えた影響について考察し、理解する。	明治維新 富国強兵と文明開化 ・教材 教科書、副教材、プリント など	【知識・技能】 ・大政奉還から王政復古の大号令を経て戊辰戦争がおこった過程を理解できている。 【思考・判断・表現】 ・資料や図版などから、明治政府の政策の新しい面とかわらなかった面について考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・富国強兵や文明開化が日本に与えた影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	14
大日本帝国憲法、日本の産業革命と日清戦争 ①自由民権運動が始まった背景やその後の展開について考察し、理解する。 ②大日本帝国憲法が制定される過程と憲法の内容を理解する。 ③大日本帝国憲法の特徴について考察し、理解する。 ④日清戦争に勝利した日本に対する列強の反応について考察し、理解する	大日本帝国憲法、日本の産業革命と日清戦争 ・教材 教科書、副教材、プリント など	【知識・技能】 ・大日本帝国憲法の制定過程や憲法の内容を理解できている。 ・日清戦争の原因と結果を理解できている。 【思考・判断・表現】 ・資料や図版などから、産業革命による生産様式の変化や貿易への影響について考察し、表現できている。 ・列強における国際関係の再編がおよぼした影響について考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本における産業革命の進展や日清戦争の経過について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	14
帝国主義、日露戦争と韓国併合 ①日露戦争から韓国併合に至る過程について理解する。 ②日露戦争の勝利がアジア諸地域に与えた影響について、中国を具体的な事例として考察し、理解する。 ③日清戦争と日露戦争の時期に日本が不平等条約の改正に成功したことを理解する。	帝国主義、日露戦争と韓国併合 ・教材 教科書、副教材、プリント など	【知識・技能】 ・帝国主義時代のおもな分割対象がアフリカと太平洋海域であったことを理解できている。 【思考・判断・表現】 ・資料や図版などから、大日本帝国憲法の特徴について考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日露戦争とその影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
いまの私たちにつながる課題 自由・制限の観点から、これまでの学習を振り返り、貿易に関する諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。また、近代化と私たちが表現した問いを振り返り、新たに加わった視点や理解が深まったと考えられる点についてまとめる。	いまの私たちにつながる課題 ・教材 教科書、副教材、プリント など	【知識・技能】 ・対立・協調の観点から、ベリー米軌後の国内対立、超然内閣をめぐる対立、対ロシア政策をめぐる対立に関する諸資料をもとに情報を選択し効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる近代化の歴史を理解できている。 【思考・判断・表現】 ・対立・協調の観点から、ベリー米軌、帝国議会の運営、対ロシア政策でそれぞれの勢力が抱いた政治構想を比較して、これまでの学習を振り返り、資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		6
						合計
						76



高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組：岡田・工藤）（2組：工藤・岡田）（3組：秋澤・白井）（4組：鈴木・秋澤）（5組：白井・鈴木）（6組：岡田・工藤）

使用教科書： （最新数学A 数研出版）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】基本的な計算問題を正確に解く処理能力を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】問題解決の道筋を考えたり説明ができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】演習やワークシートに積極的に取り組み、数学の面白さを知ろうとする。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率について理解し、事象を数学的にとらえたり、数学的に処理する力を身につける。	数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培う。	数学を活用しようとする態度、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <p>①共通部分、和集合、補集合を求めることができる。</p> <p>②要素を書き並べて表して、集合の要素の個数を求めることができる。</p> <p>③順列の用語、記号、公式を理解し、利用できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①ベン図を利用して集合を図示することで、要素の個数を考察することができる。</p> <p>②具体的な問題を通じて、どのような場合に順列の考え方が適用できるかを見極めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①集合を考えることで、日常的な事柄などを、集合の要素の個数として数学的に数えようとする。</p> <p>②1つの原則を決めて、樹形図などを利用して、もれなく重複することなく数えようとする。</p>	<p>・指導事項 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数</p> <p>・集合 ・要素の個数 ・樹形図 ・順列</p> <p>・教材 最新数学A パラレルノート数学A</p>	<p>【知識・技能】 ワークシート、ノート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等</p>	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
	<p>【知識及び技能】</p> <p>①組合せの用語、記号、公式を理解し、利用できる。</p> <p>②組分けの問題を処理できる。</p> <p>③同じものを含む順列の総数を求めることができる。</p> <p>④確率の定義に基づき、事象の確率を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①特殊な条件が付く組合せを、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。</p> <p>②試行の結果を事象としてとらえ、事象を既知の集合と結びつけて考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①組合せの考え方を利用して、図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。</p> <p>②和事象、積事象、排反、空事象、確率の基本性質を集合と関連づけて考察しようとする。</p>	<p>・指導事項 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数</p> <p>・組み合わせ ・組み合わせの利用 第2節 確率</p> <p>・確率の意味 ・和事象と余事象 ・独立試行</p> <p>・教材 最新数学A パラレルノート数学A</p>	<p>【知識・技能】 ワークシート、ノート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1





## 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科：数学

科目：数学 I

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：三宅、秋澤）（2組：宮川、鈴木）（3組：工藤、秋澤）（4組：秋澤、工藤）（5組：三宅、白井）（6組：三宅、鈴木）

使用教科書：（最新数学 I 数研出版）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】基本的な計算問題を正確に解く処理能力を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】問題解決の道筋を考えたり説明ができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】演習やワークシートに積極的に取り組み、数学の面白さを知ろうとする。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、データの分析、2次関数、図形と計量について理解し、事象を数学的にとらえたり、数学的に処理する力を身につける。	数学的事項の構成要素間の関係に注目し、その性質を見だし、論理的に考察する力を身につける。	数学を活用しようとする態度、数学的論拠に基いて判断しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<b>【知識及び技能】</b> ①単項式や多項式を理解し、同類項をまとめたり加法・減法を正しく扱うことができる。 ②基本的な展開と因数分解を正しく行うことができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 複雑な式についても、項を組み合わせる、降べきの順に整理するなどして見通しをよくすることで、因数分解をすることができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ①単項式、多項式とその整理の仕方に関心を持ち、考察しようとする。 ②展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用しようとする	・指導事項 第1章 数と式 第1節 整式 ・整式とその加法、減法 ・整式の乗法 ・因数分解  ・教材 最新数学 I パラレルノート数学 I	<b>【知識・技能】</b> ワークシート、ノート  <b>【思考・判断・表現】</b> ワークシート、行動観察  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ノート、行動観察、提出物等	○	○	○	7
<b>【知識及び技能】</b> ①様々な分数や実数の種類を区別できる。 ②基本的な平方根の計算を行うことができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ①分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを考察できる。 ②自然数、整数、有理数、実数の各範囲で、四則計算について閉じているかどうかを考察できる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ①今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする。 ②循環小数を分数で表す方法に興味・関心をもつ。	・指導事項 第1章 数と式 第2節 実数 ・実数 ・根号を含む式の計算 ・絶対値  ・教材 最新数学 I パラレルノート数学 I	<b>【知識・技能】</b> ワークシート、ノート  <b>【思考・判断・表現】</b> ワークシート、行動観察  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ノート、行動観察、提出物等	○	○	○	4
定期考査			○	○	○	1
<b>【知識及び技能】</b> ①大小関係を不等号を用いて表現することができる。 ②1次不等式を解き、その解を数直線上に図示することができる <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ①具体的な数に対して、不等式の解であるかどうかを判断できる。 ②不等式の性質を、数直線と対応させて考察できる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ①不等号に等号が付いているものと付いていないものの違いを考察しようとする。 ②連立不等式の解を考察しようとする。	・指導事項 第1章 数と式 第3節 不等式 ・不等式と数直線 ・1次不等式 ・連立不等式  ・教材 最新数学 I パラレルノート数学 I	<b>【知識・技能】</b> ワークシート、ノート  <b>【思考・判断・表現】</b> ワークシート、行動観察  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ノート、行動観察、提出物等	○	○	○	8
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <p>①xの関数yが与えられたとき、xの値に対するyの値を求めることができる。</p> <p>②<math>y=f(x)</math>や<math>f(x)</math>の表記を理解しており、関数の値<math>f(a)</math>を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①2次関数<math>y=a(x-p)^2+q</math>のグラフの頂点、軸について理解している。</p> <p>②<math>y=ax^2+bx+c</math>のグラフをかくためには、<math>y=a(x-p)^2+q</math>の形に変形する必要があることを理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①日常生活に見られる具体例から関数を見つけようとする。</p> <p>②日常生活に見られる具体例から関数を見つけようとする。</p>	<p>・指導事項 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ ・関数とグラフ ・平方完成</p> <p>・教材 最新数学 I パラレルノート数学 I</p>	<p>【知識・技能】 ワークシート、ノート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	<p>【知識及び技能】</p> <p>①2次関数の最大値、最小値を求めることができる。</p> <p>②与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定することができる。</p> <p>③2次方程式を解くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①2次関数が最大値または最小値をもつことを、グラフを使って、理解しようとする。</p> <p>②2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①身近な問題を、2次関数の最大・最小の考えを活用して解決しようとする。</p> <p>②2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。</p>	<p>・指導事項 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ ・最大と最小 ・2次関数の決定 第2節 2次方程式と2次不等式 ・2次方程式 ・2次不等式</p> <p>・教材 最新数学 I パラレルノート数学 I</p>	<p>【知識・技能】 ワークシート、ノート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等</p>	○	○	○	16
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <p>①三角比は、直角三角形の辺の比であることを理解している。</p> <p>②直角三角形において<math>\sin A</math>、<math>\cos A</math>、<math>\tan A</math>の値を求めることができる。</p> <p>③三角比の表を用いて、三角比の値や角を調べることができる。</p> <p>④三角比の相互関係を用いて、三角比の1つの値から残り2つの三角比の値を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①座標を用いた鈍角の三角比の定義を理解している。</p> <p>②三角比と三角形の面積の関係を考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①三角比の相互関係を調べようとする。</p> <p>②三角比の相互関係が鈍角のときも成り立つことを調べようとする。</p>	<p>・指導事項 第4章 図形と軽量 第1節 三角比 ・鋭角の三角比 ・相互関係 ・三角比の拡張 ・正弦・余弦定理 ・三角形の面積</p> <p>・教材 最新数学 I パラレルノート数学 I</p>	<p>【知識・技能】 ワークシート、ノート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、行動観察、提出物等</p>	○	○	○	15
							合計
							67

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位  
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組  
 教科担当者：（1組：古館） （2組：古館） （3組：古館） （4組：古館） （5組：古館） （6組：古館）  
 使用教科書：（東京書籍 新編 化学基礎）

教科 理科 の目標：  
 【知識及び技能】 定期テストにおいて各単元の知識、理解度を点数で評価する。  
 【思考力、判断力、表現力等】 実験において各単元への思考力、判断力を総合的に判断する。  
 【主体的に学習に取り組む態度】 教室での座学において、各発言、積極性、ノート・プリントの正しい活用方法で判断する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
定期テストにおいて各単元の知識、理解度を点数で評価する。	実験において各単元への思考力、判断力を総合的に判断する。	教室での座学において、各発言、積極性、ノート・プリントの正しい活用方法で判断する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期 ①身のまわりの物質を単体、化合物、混合物に分類できるようにする。 ②混合物を分離する具体的な方法例を理解する。 ③物質は温度を変えることで3つの状態を相互に変化することを理解する。 ④絶対温度を理解し、セルシウス温度と相互換算できるようにする。 ⑤同素体とは何かを理解して、代表的な元素の同素体を例示できる。 ⑥炎色反応や沈殿反応を利用して成分元素を特定できるようにする。 ⑦硫化銅の変化を通して、ガスバーナーの使い方や加熱、ろ過などの基本操作を学ぶ。 ⑧原子の構造と陽子・電子・中性子の性質を理解する。 ⑨電子殻について理解して、Caまでの電子配置を理解し価電子について説明できるようにする。 ⑩アルカリ金属と水の反応において、反応性と周期表の関係を実験を通して理解する。	①物質の分類 ②混合物の分離方法 ③物質の三態 ④絶対温度 ⑤成分元素の検出 ⑥同素体 ⑦化学実験の基本操作 ⑧原子の構造 ⑨原子の電子配置 ⑩アルカリ金属の性質	【知識・技能】 考查  【思考・判断・表現】 実験態度、実験考察  【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、発言、ノート、ワークシート		○	○	7
①電子の出入りによりイオンが生成することを理解する。 ②多原子イオンの電子の数を原子番号から求められるようにする。 ③イオンからできている物質の組成式と命名法について理解する。 ④原子の質量と相対質量について理解する。 ⑤同位体の存在比から原子量を求められる。分子量、式量を求められる。 ⑥molの概念を理解する。 ⑦物質質量と質量・体積・粒子数の関係を理解する。 ⑧モル濃度の定義を理解する。モル濃度の計算を解けるようにする。 ⑨化学反応式に係数をつけられるようにする。 ⑩反応で生成する物質を反応式から計算できるようにする。 ⑪実験を通して化学反応式の量的関係を理解する。	①イオンの生成 ②イオンの電子数 ③組成式 ④原子の質量 ⑤原子量・分子量 ⑥物質質量 ⑦物質質量と質量・体積の関係 ⑧モル濃度 ⑨化学反応式の量的関係 ⑩実験：炭酸カルシウムと塩酸の関係	【知識・技能】 考查  【思考・判断・表現】 実験態度、実験考察  【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、発言、ノート、ワークシート	○	○	○	16

3 学期	<p>①アレニウスの定義およびブレンステッドローリーの定義を理解し識別ができるようにする。</p> <p>②電離度の概念を理解して酸・塩基の強弱を区別できるようにする。</p> <p>③水の電離平衡や水のイオン積を理解する。</p> <p>④pHの概念を理解して酸・塩基の水素濃度からpHが計算できるようにする。</p> <p>⑤身近な物質を用いて色々な指示薬を使用して酸・塩基の強弱や液性を調べる。</p> <p>⑥中和反応の定義を理解して生成する塩の性質を識別できるようにする。</p> <p>⑦酸性雨のできる仕組みを理解し、酸性雨の影響、我々のできることを探る。</p>	<p>①酸・塩基の定義</p> <p>②酸・塩基の強弱</p> <p>③水素イオン濃度</p> <p>④pH</p> <p>⑤身近な物質の酸・塩基の強弱</p> <p>⑥中和反応と塩</p> <p>⑦酸性雨</p>	<p>【知識・技能】          考查</p> <p>【思考・判断・表現】          実験態度、実験考察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】          授業態度、発言、ノート、ワークシート</p>	○	○	○	16
定期考査				○	○	○	1
<b>合計</b>							40

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位  
 対象学年組：第1学年 1組～6組  
 教科担当者：（1組：小林）（2組：馬場）（3組：小林）（4組：小林）（5組：馬場）（6組：馬場）  
 使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に浸むとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につける。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元健康の考え方と成り立ち 【知識及び技能】単元について理解を深め生活に実践できる知識を深める。【思考力、判断力、表現力等】単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】この単元で学んだことを生かし自他の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テスト・定期考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	1
	B 単元私たちの健康のすがた 【知識及び技能】単元について理解を深め生活に実践できる知識を深める。【思考力、判断力、表現力等】単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】この単元で学んだことを生かし自他の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テスト・定期考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	1
	C 単元生活習慣病の予防と回復 【知識及び技能】単元について理解を深め生活に実践できる知識を深める。【思考力、判断力、表現力等】単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】この単元で学んだことを生かし自他の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テスト・定期考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	2
	D 単元がんの原因と予防 【知識及び技能】単元について理解を深め生活に実践できる知識を深める。【思考力、判断力、表現力等】単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】この単元で学んだことを生かし自他の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テスト・定期考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	1
	E 単元がんの治療と回復 【知識及び技能】単元について理解を深め生活に実践できる知識を深める。【思考力、判断力、表現力等】単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】この単元で学んだことを生かし自他の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テスト・定期考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	1
	F 単元運動と健康 【知識及び技能】単元について理解を深め生活に実践できる知識を深める。【思考力、判断力、表現力等】単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】この単元で学んだことを生かし自他の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テスト・定期考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	2
定期考査				○	○		1
G 単元食事と健康 【知識及び技能】単元について理解を深め生活に実践できる知識を深める。【思考力、判断力、表現力等】単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】この単元で学んだことを生かし自他の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テスト・定期考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	1	
	H 単元休養・睡眠と健康 【知識及び技能】単元について理解を深め生活に実践できる知識を深める。【思考力、判断力、表現力等】単元の課題を発見し解決に向けて考え他者に伝える力を養う。【学びに向かう力、人間性等】この単元で学んだことを生かし自他の健康の保持増進を実践する生活を営む態度を養う。	・教科書を用いた単元学習 ・単元をまとめたプリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 小テスト・定期考査等で理解度を確認する。 【思考・判断・表現】 授業での質疑応答、課題プリントの記入状況等から判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加する意欲、提出物の内容、提出状況等から判断する。	○	○	○	1



高等学校 令和5年度（1学年用）教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育

科目：体育

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1 組～6 組 菅井 加藤 関内 伊藤 佐藤 小林）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】体力を高める運動の意義と、高め方及び競技のルール等を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】技能の段階に応じて、課題解決のための目標を設定し、練習を工夫できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】仲間と協力し、様々な種目に積極的に取り組む。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の主體的、合理的、計画的な実践に関する具体的な事項やスポーツの推進及び発展に寄与するための事項について理解している。</li> <li>生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習する運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。</li> <li>課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。</li> <li>体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。</li> <li>フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。</li> </ul>

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数		
1 学 期	①運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続すること ができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 ②生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う ③運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオ体操</li> <li>体ほぐしの運動</li> <li>体力テスト</li> <li>バドミントン</li> <li>水泳</li> <li>柔道</li> <li>ダンス</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動の主體的、合理的、計画的な実践に関する具体的な事項やスポーツの推進及び発展に寄与するための事項について理解している。</li> <li>生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身につけている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習する運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。</li> <li>課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。</li> <li>体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整をしている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体育の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。</li> <li>フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	39		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>水泳</li> <li>サッカー</li> <li>バスケットボール</li> <li>バレーボール</li> <li>柔道</li> <li>ダンス</li> </ul>				○	○	○	45
		<ul style="list-style-type: none"> <li>長距離走</li> <li>球技</li> </ul>				○	○	○	21

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教科：芸術 科目：音楽Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：福島優子）（2組：福島優子）（3組：福島優子）（4組：福島優子）（5組：福島優子）（6組：福島優子）

使用教科書：（MOUSA1）

教科 芸術 の目標：  
 【知識及び技能】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽を理解する  
 【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することを目指す

【学びに向かう力、人間性等】主体的に幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。	音色・リズム・速度・教材・形成を覚識し、それらの働きを感じながら、どのように歌うかについて表現意図を持っている。	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み音楽を愛好する心情を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	記 時 数		
		歌	器	創							
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を覚識する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱の学習活に取り組み	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○				○	○	○	6	
	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を覚識する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱の学習活に取り組み	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○				○	○	○	6	
	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を覚識する。 【学びに向かう力、人間性等】 指揮者になってみる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○				○	○	○	8
	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を覚識する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱の学習活に取り組み	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○			○	○	○	2
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 曲想とギターの関わり 【思考力、判断力、表現力等】 曲に相応しい奏法、体の使い方 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ギター ・ドラムスティック	○	○			○	○	○	6	
	A 単元 【知識及び技能】 曲想とギターの関わり 【思考力、判断力、表現力等】 曲に相応しい奏法、体の使い方 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ギター ・ドラムスティック	○	○			○	○	○	6	
	A 単元 【知識及び技能】 曲想音楽の構造や歌詞との関わり 【思考力、判断力、表現力等】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ドラムスティック	○	○	○			○	○	○	8
	A 単元 【知識及び技能】 曲想音楽の構造や歌詞との関わり 【思考力、判断力、表現力等】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ドラムスティック	○	○	○			○	○	○	2



3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 主体性を発揮しながら技術を身につける 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ギター ・ドラムスティック	○	○	○	表現を工夫して合唱に取り組む姿勢 学習記録とワークシート 歌のテスト	○	○	○	○	2
	A 単元 【知識及び技能】 主体性を発揮しながら技術を身につける 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ドラムスティック	○	○	○	表現を工夫して合唱に取り組む姿勢 学習記録とワークシート 歌のテスト	○	○	○	○	2
	A 単元 【知識及び技能】 主体性を発揮しながら技術を身につける 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ドラムスティック	○	○	○	表現を工夫して合唱に取り組む姿勢 学習記録とワークシート 歌のテスト	○	○	○	○	2

合計  
50



高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：奥村・藤井）（2組：荒木田・藤井）（3組：小林・荒木田）（4組：荒木田・小林）（5組：荒木田・永野）（6組：藤井・永野）

使用教科書：（All Aboard! English Communication I）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 基礎的な文法事項を理解し、使うことができる
- 【思考力、判断力、表現力等】 学習したテキストの内容を理解し、自分の考えを表明することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に参加し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。	①聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 ②話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。	①積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 (心)	書						
1 学 期	A 単元 Pre-lesson 【知識及び技能】 SVOCを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己紹介をできるようにさせる 【学びに向かう力、人間性等】 しっかり声を出して読ませる	・指導事項 SVOC、自己紹介・英単語テスト ・教材 テキスト・ワークブック チャンクで英単語 ・一人1台端末の活用 関連映像視聴など	○	○	○	○					3
	B 単元 Lesson1,2 【知識及び技能】 過去形・進行形を理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 世界の朝食、オーストラリアの動物について理解させる 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 過去形・進行形・英単語テスト ・教材 テキスト・ワークブック チャンクで英単語 ・一人1台端末の活用 関連映像視聴など	○	○	○	○					17
	定期考査						○	○			1
	C 単元 Lesson3 【知識及び技能】 助動詞について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 東日本大震災について理解させる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワーク・積極的に声をださせる	・指導事項 過去形・進行形・英単語テスト ・教材 テキスト・ワークブック チャンクで英単語 ・一人1台端末の活用 関連映像視聴など	○	○	○	○					10
	C 単元 Lesson4 【知識及び技能】 不定詞について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 行きたい場所について説明させる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワーク・積極的に声をださせる	・指導事項 過去形・進行形・英単語テスト ・教材 テキスト・ワークブック チャンクで英単語 ・一人1台端末の活用 関連映像視聴など	○	○	○	○					10
定期考査						○	○			1	
2 学 期	C 単元 Lesson5 【知識及び技能】 動名詞について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 部活動について説明させる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワーク・積極的に声をださせる	・指導事項 動名詞・英単語テスト ・教材 テキスト・ワークブック チャンクで英単語 ・一人1台端末の活用 関連映像視聴など	○	○	○	○					10
	C 単元 Lesson6 【知識及び技能】 受け身について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 好きな絵について説明させる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワーク・積極的に声をださせる	・指導事項 受動態・英単語テスト ・教材 テキスト・ワークブック チャンクで英単語 ・一人1台端末の活用 関連映像視聴など	○	○	○	○					10
	定期考査						○	○			1
	C 単元 Lesson7 【知識及び技能】 比較表現について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 アンネフランクについて話させる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワーク・積極的に声をださせる	・指導事項 比較表現・英単語テスト ・教材 テキスト・ワークブック チャンクで英単語 ・一人1台端末の活用 関連映像視聴など	○	○	○	○					10
	C 単元 Lesson8 【知識及び技能】 現在完了について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 身近なロボットについて会話させる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワーク・積極的に声をださせる	・指導事項 現在完了・英単語テスト ・教材 テキスト・ワークブック チャンクで英単語 ・一人1台端末の活用 関連映像視聴など	○	○	○	○					10
定期考査						○	○			1	
3 学 期	C 単元 Lesson9 【知識及び技能】 分詞について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 ブラゴミについて会話させる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワーク・積極的に声をださせる	・指導事項 現在分詞・過去分詞の限定用法 英単語テスト ・教材 テキスト・ワークブック チャンクで英単語 ・一人1台端末の活用 関連映像視聴など	○	○	○	○					10
	C 単元 Lesson10 【知識及び技能】 関係代名詞について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 沖繩の歴史を理解させる 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワーク・積極的に声をださせる	・指導事項 関係代名詞・英単語テスト ・教材 テキスト・ワークブック チャンクで英単語 ・一人1台端末の活用 関連映像視聴など	○	○	○	○					10
	定期考査						○	○			1
										谷	
										105	

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科：外国語 科目：論理・表現 I 単位数：2 単位  
 対象学年組：第 1 学年 組～ 組  
 教科担当者：（1組：品田・荒木田）（2組：藤本・西田）（3組：川崎・永野）（4組：永野・藤本）（5組：荒木田・西田）（6組：藤本・品田）  
 使用教科書：（ MY WAY Logic and Expression I ）

教科 外国語 の目標：  
 【知識及び技能】 基礎的な文法事項を理解し、使うことができる。  
 【思考力、判断力、表現力等】 学習したテキストの内容を理解し、自分の考えを表明することができる。  
 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に参加し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①言語や運用についての知識を身につけ、理解することができる。	①聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 ②話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。	①積極的にコミュニケーションを図りながら学習することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 Lesson 1 【知識及び技能】 be動詞及び一般動詞の適切な判断・使用方法の理解 【思考力、判断力、表現力等】 初対面の挨拶や自己紹介のスピーチをととして表現力を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 質疑応答や生徒同士の学びあい	・指導事項 〈主語+be動詞(一般動詞)+…〉の構造 ・教材 教科書/サブノート/英文プリント/小テスト/Exerciseプリント ・一人1台端末の活用 必要に応じて適宜情報収集	①知識・技能…左記指導目標に沿った学習内容を理解することができる(査査・課題) ②思考力・判断力・表現力…学習した内容を用いた表現を行うことができる(査査・課題) ③学びに向かう力・人間性等…積極的に授業に参加し、自らの考えを精査している(授業態度)	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 単元 Lesson 2 【知識及び技能】 be動詞及び一般動詞、現在進行形、過去進行形の適切な判断・使用方法の理解 【思考力、判断力、表現力等】 表現したい内容に合致した適切な意味をもつ動詞を用いて表現 【学びに向かう力、人間性等】 質疑応答や生徒同士の学びあい	・指導事項 〈主語+be動詞(一般動詞)+…〉、〈現在進行形〉、〈過去進行形〉の構造 ・教材 教科書/サブノート/英文プリント/小テスト/Exerciseプリント ・一人1台端末の活用 必要に応じて適宜情報収集	①知識・技能…左記指導目標に沿った学習内容を理解することができる(査査・課題) ②思考力・判断力・表現力…学習した内容を用いた表現を行うことができる(査査・課題) ③学びに向かう力・人間性等…積極的に授業に参加し、自らの考えを精査している(授業態度)	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
2 学 期	C 単元 Lesson3 【知識及び技能】 未来表現等、時制の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ふさわしい時制で表現できる能力を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 質疑応答や生徒同士の学びあい	・指導事項 〈主語+助動詞+動詞+…〉の構造 ・教材 教科書/サブノート/英文プリント/小テスト/Exerciseプリント ・一人1台端末の活用 必要に応じて適宜情報収集	①知識・技能…左記指導目標に沿った学習内容を理解することができる(査査・課題) ②思考力・判断力・表現力…学習した内容を用いた表現を行うことができる(査査・課題) ③学びに向かう力・人間性等…積極的に授業に参加し、自らの考えを精査している(授業態度)	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	D 単元 Lesson4 【知識及び技能】 現在完了形、現在完了進行形の理解 【思考力、判断力、表現力等】 個々の英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答 【学びに向かう力、人間性等】 質疑応答や生徒同士の学びあい	・指導事項 〈主語+助動詞+過去分詞+…〉、〈主語+助動詞+been+現在分詞+…〉の構造 ・教材 教科書/サブノート/英文プリント/小テスト/Exerciseプリント ・一人1台端末の活用 必要に応じて適宜情報収集	①知識・技能…左記指導目標に沿った学習内容を理解することができる(査査・課題) ②思考力・判断力・表現力…学習した内容を用いた表現を行うことができる(査査・課題) ③学びに向かう力・人間性等…積極的に授業に参加し、自らの考えを精査している(授業態度)	○	○	○	16
定期考査			○	○		1	
3 学 期	E 単元 Lesson5 【知識及び技能】 助動詞、受動態の理解 【思考力、判断力、表現力等】 「助動詞」「受動態」を用いた表現 【学びに向かう力、人間性等】 質疑応答や生徒同士の学びあい	・指導事項 〈主語+助動詞+動詞+…〉、〈主語+be動詞+過去分詞+…〉の構造 ・教材 教科書/サブノート/英文プリント/小テスト/Exerciseプリント ・一人1台端末の活用 必要に応じて適宜情報収集	①知識・技能…左記指導目標に沿った学習内容を理解することができる(査査・課題) ②思考力・判断力・表現力…学習した内容を用いた表現を行うことができる(査査・課題) ③学びに向かう力・人間性等…積極的に授業に参加し、自らの考えを精査している(授業態度)	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計
							71

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報I

教科：情報 科目：情報I

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当：（1組：河合・加藤）（2組：河合・加藤）（3組：河合・加藤）（4組：河合・加藤）（5組：河合・加藤）（6組：河合・加藤）

使用教科書：（最新情報I 実教出版）

教科 情報 の目標：

- 【知識及び技能】コンピュータやデータを活用した効果的なコミュニケーションの実現、情報社会と人との関わりについて理
- 【思考力、判断力、表現力等】様々な事象の結び付きから問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切に活用することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用することから情報社会に主体的に参画することができる。

科目 情報I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を活用して、問題の発見・解決をするための知識と情報活用の技能を身に付け、情報化社会と人間との関わりについて理解しているか。	問題の発見・解決に対して情報と情報技術を適切で効果的に用いることができるか。	情報社会との関わりについて考え、主体的に情報と情報技術を活用し、自らを評価して改善しようとしているか。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第1章 情報社会と私たち 1 情報社会と情報 3 情報のモラルと個人に及ぼす影響 4 情報社会の法規と権利 5 個人情報の保護と管理情報の利用と公開 6 個人情報の保護と管理 7 社会の中の情報システム	・情報社会の現状と情報の特性について理解する。 ・データ、情報、知識の意味と相互の関係について理解する。 ・情報のモラルと知的財産権の概要について理解する。 ・個人情報の概念、保護や管理の方法について理解する。	【知識・技能】 ・情報社会での情報の取り扱い、利点、欠点を理解して活用できる。 【思考・判断・表現】 ・ビッグデータの活用例を挙げることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・知的財産を適切に活用し、主体的に創作活動に参画しようとしている。	○	○	○	8
	第2章 メディアと情報デザイン 1 メディアの発達 2 メディアの特性 3 コミュニケーションの形態 4 インターネットのコミュニケーション 5 社会の中の情報デザイン 6 プレゼンテーション 7 Webページ	・メディアの機能と分類、その発達について理解する。 ・文字、図形、音声、静止画などメディアの特性を理解する。 ・ユニバーサルデザインを具体的に活用した企画、準備、実施、評価改善などのプレゼンテーションの流れを理解する。	【知識・技能】 ・メディアの機能について説明できる。 ・各種のメディアを活用し、主体的に情報を発信することができる。 【思考・判断・表現】 ・情報に応じて適切にメディアを選択して表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コミュニケーション活動から自己評価や相互評価に基づいての技能を改善している。	○	○	○	9
	第3章 システムとデジタル化 1 コンピュータの構成と動作 2 ソフトウェアとインターフェース 3 アナログとデジタル 4 2進数と情報量 定期考査	・アナログ量とデジタル量の違いについて理解する。 ・コンピュータ内部で演算処理の手順と仕組みを理解する。 ・2進数を活用した論理回路での情報処理の方法を理解する。	【知識・技能】 ・計算の仕組みについて説明できる。 【思考・判断・表現】 ・アナログとデジタルを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報のデジタル化について理解しようとしている。	○	○	○	6
				○	○		1
2 学期	5 演算の仕組み 6 数値と文字の表現 7 数値の計算 8 音声の表現 9 静止画と動画の表現 10 情報のデータ量	・コンピュータ内部の演算方法、仕組みを理解する。 ・数値や文字をデジタル化する方法を理解する。 ・音声や画像をデジタルで表現する方法を理解する。 ・データの圧縮方法、圧縮形式について理解する。	【知識・技能】 ・論理回路による演算の仕組みを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・数値・文字の情報を目的に応じて適切にデジタルで表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・データ量の計算など関心を持ち取り組もうとしている。	○	○	○	8
	第4章 ネットワークとセキュリティ 1 ネットワークの構成 2 情報通信の取り決め 3 Webページとメールの仕組み 4 転送速度とデータ圧縮 5 脅威に対する安全対策 6 情報セキュリティの確保 7 安全のための情報技術	・情報通信ネットワークの構成とその方法を理解する。 ・ネットワークを効率的に利用する構成、利用法を理解する。 ・ネットワークでデータを効率よく転送する工夫を理解する。 ・情報の安全とセキュリティの確保について理解する。	【知識・技能】 ・通信方式の種類やその違いについて説明できる。 【思考・判断・表現】 ・目的に沿って、ネットワークを構成する情報機器の接続を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・インターネットの仕組みに興味・関心を持ち活用について検討しようとしている。	○	○	○	10
	第5章 問題解決とその方法 1 問題の発見・解決・明確化・検討 2 解決案の決定 3 解決案の実施と評価 4 データの収集と整理 5 データ分析と表計算 6 データベースとは 7 モデル化とシミュレーション 定期考査	・問題解決の手順を理解する。 ・問題を発見し明確化するための方法を理解する。 ・問題の解決案を比較検討する資料や問題解決の工程表を作成する方法を理解する。 ・データを収集したり、整理する方法を理解する。 ・問題解決のためにシミュレーションを活用する。	【知識・技能】 ・問題や問題解決の意味、問題解決の手順について説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・問題の解決案を検討するために必要な情報を収集・整理し適切な資料を作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・データ分析の方法や分析結果の妥当性について、自己評価や相互評価で振り返り、改善しようとしている。	○	○	○	9
				○	○		1
3 学期	第6章 アルゴリズムとプログラミング 1 アルゴリズムとその表記 2 プログラミング言語 3 関数を使用したプログラム 4 探索と整列のプログラム 5 探索と整列のプログラム	・アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 ・プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。 ・変数、関数を使用したプログラムの作成方法を理解する。 ・目的のデータを探し出すプログラムを作成する方法を理解する。	【知識・技能】 ・アルゴリズムとプログラムについてそれぞれ説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・問題解決のアルゴリズムにしたがって、基本制御構造を使用して適切かつ効率的にプログラムを作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・関数を活用したプログラムを設計し、効率的なプログラムを作成しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		合計 70

高等学校 令和5年度（1学年用）教科

総合 科目 総合的な探究の時間

教科：総合 科目：総合的な探究の時間

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：古館・河合）（2組：厚木・馬場）（3組：大村・工藤）（4組：秋澤・佐藤）（5組：荒木田・山田）（6組：福島・白戸）

使用教科書：（「人間と社会」）

教科 総合 の目標：

【知識及び技能】人と社会のかかわりについて理解と知識を得て、将来の生き方に役立てる。

【思考力、判断力、表現力等】他者と意見を交わし協働する姿勢を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】自ら学ぶ方法や態度を身に付ける。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人と社会のかかわりについて理解と知識を得て、将来の生き方に役立てる。	他者と意見を交わし協働する姿勢を身に付ける。	自ら学ぶ方法や態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1章 人間関係を築く 1.1章 支え合う社会	・自己理解と他者理解（人間関係を築くことの意義を理解する。） ・なぜ人は助け合い、支え合うのか（支え合うことへの自分の考えを持つことができる。）	【知識・技能】 社会の様々な活動内容を理解しているか。 哲学対話・調べ・まとめ・発表ができたか。 【思考・判断・表現】 社会的活動の意義や自己の生き方について考えを深めることができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 活動に主体的に参加しているか。 【方法】 70%…出席状況 30%…①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参	○	○	○	2
	1.1章 支え合う社会 1.2章 地域社会を築く	・人生のリスクとは（「人生のリスク」とは何かを理解する。） ・自助・共助・公助（自助・共助・公助とは何かを理解する。） ・都立高校における防災活動支援隊（支援活動例から、どのような支援活動考えられるかを話し合うことができる。）	【知識・技能】 社会の様々な活動内容を理解しているか。 哲学対話・調べ・まとめ・発表ができたか。 【思考・判断・表現】 社会的活動の意義や自己の生き方について考えを深めることができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 活動に主体的に参加しているか。 【方法】 70%…出席状況 30%…①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参	○	○	○	3
	1.2章 地域社会を築く 2章 学ぶことの意義	・奉仕活動、清掃活動（清掃活動を通し、地域に貢献することの大切さやその意義について考える。） ・自分にとって学ぶことにはどのような意味があるか（学ぶことの意義を考え、自己の生き方を考えることにつなげる。）	【知識・技能】 社会の様々な活動内容を理解しているか。 哲学対話・調べ・まとめ・発表ができたか。 【思考・判断・表現】 社会的活動の意義や自己の生き方について考えを深めることができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 活動に主体的に参加しているか。 【方法】 70%…出席状況 30%…①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参	○	○	○	4
	2章 学ぶことの意義	・大学模擬授業（大学での授業を体験させることにより、進路選択の参考とする。） ・選択説明会（選択科目の内容や目的を知ることにより、自己の進路に向けて最も適した選択科目を選べるようにする。）	【知識・技能】 社会の様々な活動内容を理解しているか。 哲学対話・調べ・まとめ・発表ができたか。 【思考・判断・表現】 社会的活動の意義や自己の生き方について考えを深めることができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 活動に主体的に参加しているか。 【方法】 70%…出席状況 30%…①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参	○	○	○	3
	2 学 期	1.0章 お金の意義について考える 1.8章 主権者としての自覚	・お金の持つ意義（お金についての基本的な仕組みを理解し、その意義を考えることができる。） ・お金の持つリスク ・お金が社会に貢献すること ・生徒会選挙（生徒会選挙を通して選挙の意義について考えることができる。）	【知識・技能】 社会の様々な活動内容を理解しているか。 哲学対話・調べ・まとめ・発表ができたか。 【思考・判断・表現】 社会的活動の意義や自己の生き方について考えを深めることができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 活動に主体的に参加しているか。 【方法】 70%…出席状況 30%…①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参	○	○	○
	1.8章 主権者としての自覚	・自己と選挙や政治とのかかわり（主権者としての責任について意見を述べるができる。） ・将来の国の在り方（主権者としての責任について、他者の意見を聞くことができる。）	【知識・技能】 社会の様々な活動内容を理解しているか。 哲学対話・調べ・まとめ・発表ができたか。 【思考・判断・表現】 社会的活動の意義や自己の生き方について考えを深めることができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 活動に主体的に参加しているか。 【方法】 70%…出席状況 30%…①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参	○	○	○	4
	1.2章 地域社会を築く 3章 働くことの意義	・地域交流会の準備（地域交流会の準備を手伝うことにより、高校生としてできることを考える。地域に貢献する意義を考える。） ・働くことの意義や目的（働くことの意義や目的、社会への貢献について考え、自己の進路についての考えを深める。）	【知識・技能】 社会の様々な活動内容を理解しているか。 哲学対話・調べ・まとめ・発表ができたか。 【思考・判断・表現】 社会的活動の意義や自己の生き方について考えを深めることができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 活動に主体的に参加しているか。 【方法】 70%…出席状況 30%…①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参	○	○	○	4
	3章 働くことの意義	・働くことの社会への貢献 ・私の職業紹介（実際に働いている人の話を聞くことで、イメージとのギャップに気が付き、希望する職業についてさらに研究する意欲を持つ。）	【知識・技能】 社会の様々な活動内容を理解しているか。 哲学対話・調べ・まとめ・発表ができたか。 【思考・判断・表現】 社会的活動の意義や自己の生き方について考えを深めることができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 活動に主体的に参加しているか。 【方法】 70%…出席状況 30%…①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参	○	○	○	3

3 学 期	3章 働くことの意義	・職業紹介の意見交流会（他者との意見交流を通じて、自己の希望する職業への理解を深める。） ・1年間を通して学んだことの振り返り ・まとめ（発表するために調べたことや自分の意見をまとめることができる。）	【知識・技能】 社会の様々な活動内容を理解しているか。 哲学対話・調べ・まとめ・発表ができたか。 【思考・判断・表現】 社会的活動の意義や自己の生き方について考えを深めることができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 活動に主体的に参加しているか。				4	
	まとめ	・発表（学んだことがらを自分のものとし、発表することができる。自己の成長を確認することができる。）	【方法】 70%…出席状況 30%…①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参 加等、授業中の態度				5	
							合計	35

